

✦パラオ研修生のコーナー✦

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて子どもたちの国際感覚向上等を目的に、パラオ共和国の研修生3人が市内公立の幼稚園、小・中学校（全19校）を訪問し、授業をとおして子どもたちと交流をしました。今回は11月後半に訪問した学校での交流の様子を紹介します。

11/16 大宮中学校

3人の研修生は1学年の生徒たちと書道の授業を受けた後、学年生徒会の役員、各クラスの代表の生徒と一緒に給食を食べました。研修生はパラオの言葉の紹介をし、生徒からは大宮中学校のことを教えてもらうなど、終始和やかな雰囲気でした。また、放課後は剣道部の練習に参加しました。研修生は9月に剣道を少し習っていたので、生徒と一緒に剣道ができることをとても楽しみにしていました。



▲生徒と剣道の試合をするケネリー（右）

11/20 緒川小学校

昼休みの全校集会でジェスチャーゲームを行いました。研修生それぞれがグループに加わり、全学年の児童と交流をしました。研修生と同じグループでゲームをした児童からは「パラオの人たちとジェスチャーゲームができてとても楽しかった。」「また一緒にやりたい！」などの声が上がりました。



▲グループに入り交流をするジェニー

11/21 村田小学校

ジェニーは1学年の折り紙、アスティンは2学年のかるた取り、ケネリーは3学年の書写の授業に参加しました。初めてかるた取りを行ったアスティンは「子どもたちがかるたを取るスピードが速くて、びっくりした。かるたは日本語の勉強にもなるのでとても良いと思う。」と話していました。



▲かるた取りをするアスティン

11/27 西小学校

3人は、6学年の合同体育の授業に参加しました。児童たちから踊り方を丁寧に教えてもらった後、勇壮で息の合った「よさこいソーラン」を全員で踊りました。8月の長倉七夕祭りで踊った研修生たちは、「子供たちと一緒によさこいソーランを踊ることができて、とても嬉しかった。でも、久しぶりに踊ったから足が痛い！」と笑顔を見せていました。



▲6学年全員と一緒に踊る研修生

11/29 美和小学校

美和地域の特色ある授業、5学年の「木工教室」に参加し、「ペン立て」を制作しました。研修生は子どもたちに教えてもらいながら慎重に作業しました。講師の野崎先生からは、「作ったペン立ては、一人ひとり木目が違うので、世界にたった一つのペン立てですよ。」というお話があり、アスティンは「とても素敵な作品ができた。持ち帰って大切にしたい。」と話していました。



▲児童と協力してペン立てを作るアスティン

11/30 御前山小学校

市内公立の幼稚園、小・中学校訪問の最後を締めくくるとは、御前山小学校です。ジェニーは3学年の算数「小数」、アスティンは4学年の算数「面積」、ケネリーは3学年の理科の授業に参加し児童と交流を図りました。また、この日は2回目のパラオ学校給食で、パラオの家庭料理を再現した白身魚のフライやカボチャのスープ等を児童と一緒に楽しくおいしく食べました。なお、当日は、NHK水戸放送局の取材があったため、研修生3人にとって少し緊張気味の学校訪問となりました。



▲てこの働きについて児童と実験するケネリー

皆さんありがとうございました！

今回の学校訪問に際し、ご協力いただきました学校の先生方、園児、児童、生徒、保護者の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

最後に、学校訪問を終えた研修生の感想を紹介します。

ケネリー

今回の学校訪問では、子どもたちとふれあい、友達をたくさんつくることができました。サポートをいただいた皆さん、本当にありがとうございました。

アスティン

日本の学校では子どもたちが積極的に行動している姿がとても印象的でした。パラオの子どもたちにも皆さんの姿を見せてあげたいと思いました。

ジェニー

パラオについて少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。私も日本のことをもっとたくさん学びたいです。

ありがとう！
MESULANG！（メスウーラン）
楽しかったよ！
KMAL MLE UNGIL！（マルレウギル）



▲左からケネリー、アスティン、ジェニー